

平成29年11月1日

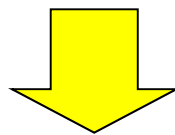
# 京都市の政策評価制度

---

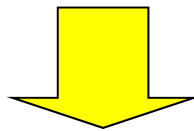
総合企画局市長公室  
政策企画調整担当  
政策企画調整第三係長 飯野博重

## ■ 1. 政策評価制度の目的

評価による課題の発見→改善  
評価結果の公表→説明責任の充実



限られた行政資源の有効活用  
住民参加の促進



行政改革(質の向上)の達成

## ■ <根拠> 行政評価条例

### <根拠>

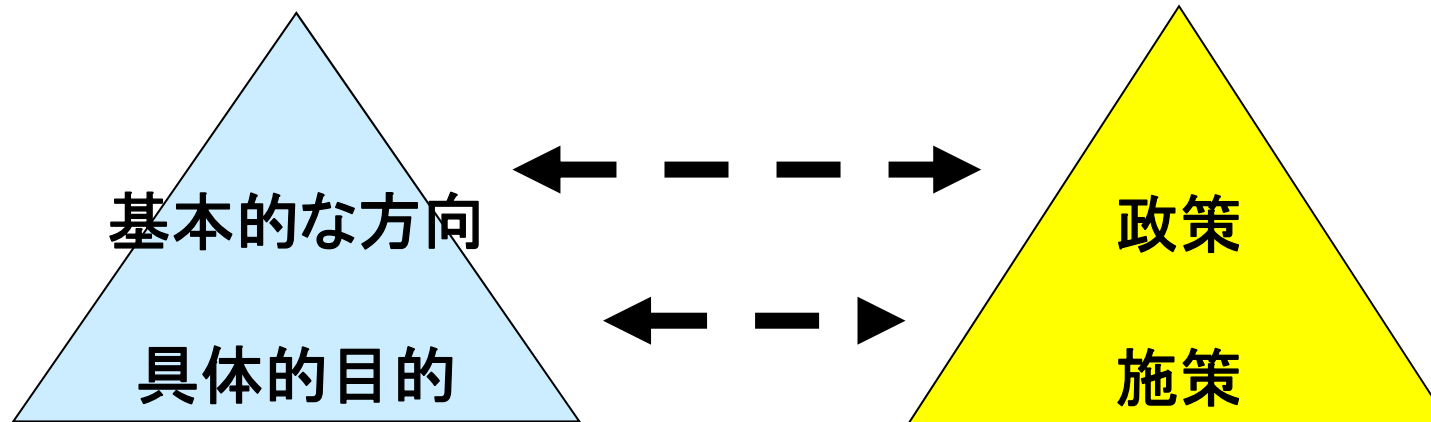
#### 行政評価条例(平成19年6月施行)

評価制度の確立のため、政策評価や事務事業評価をはじめとする7つの評価制度について基本的な事項を定める

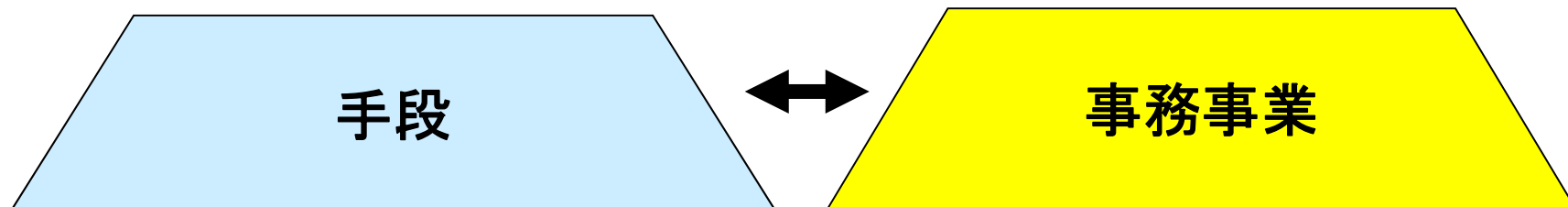
- ①政策評価
- ②事務事業評価
- ③公共事業評価
- ④交通事業事務事業評価
- ⑤上下水道事業経営評価
- ⑥学校評価
- ⑦外郭団体経営評価

## 2. 政策評価と事務事業評価

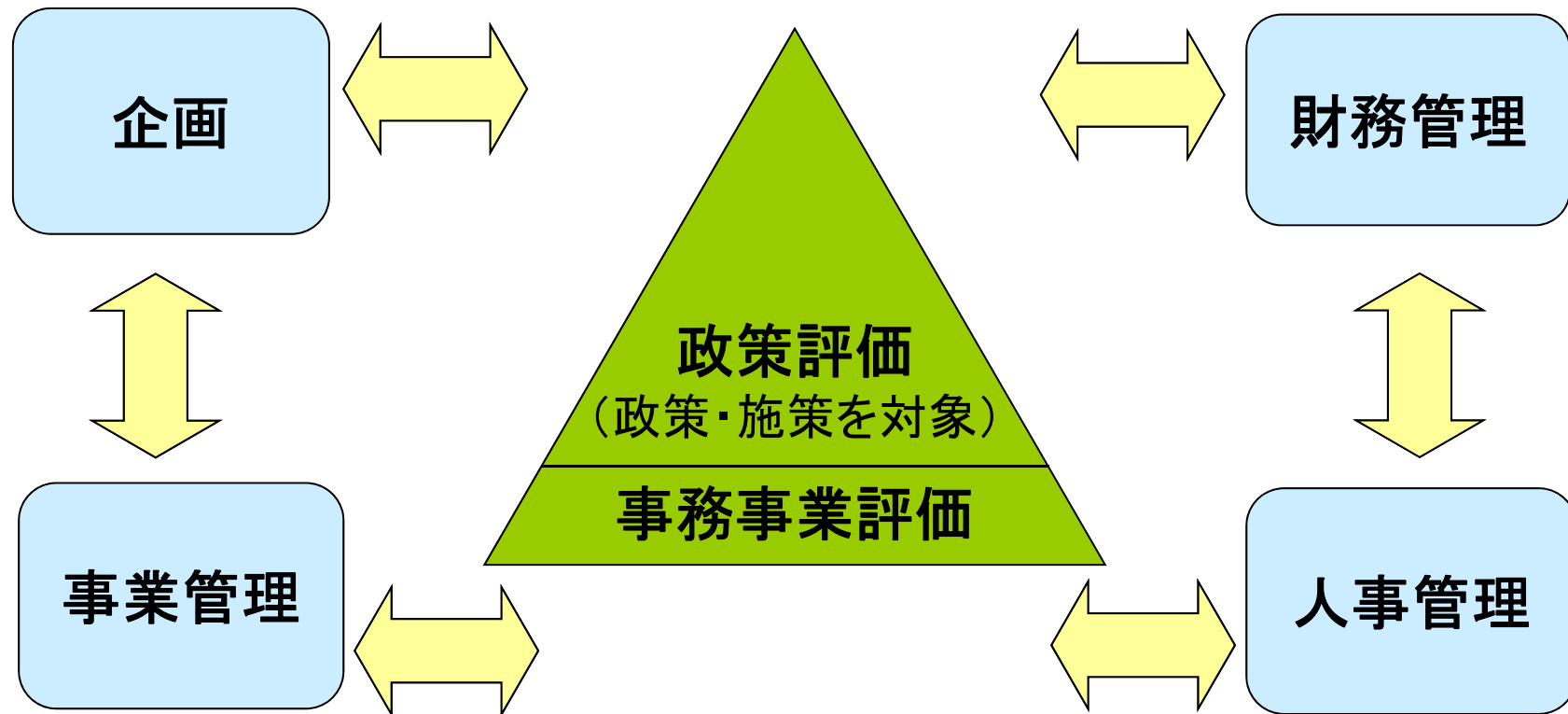
- 政策評価：目的の達成状況を評価



- 事務事業評価：手段の適切性(効果・効率)を評価



# 京都市版行政評価システム



行政管理活動が統一した目標に向かって連携

### 3. 京都市の政策評価に関する取組経過

- 平成15年度：試行
- 平成16年度～：本格実施
- 平成19年6月～：行政評価条例施行
- 平成23年度～：  
「はばたけ未来へ！京（みやこ）プラン（京都市基本計画（第2期）」に対応した評価の実施

## ■ 政策評価 毎年度の実施スケジュール

5～6月	市民生活実感調査の実施・集計
5～8月	政策評価（施策の評価案，政策の評価案）の作成
9月～10月	市会報告，政策評価結果の公表
12月～3月	政策評価委員会 （評価結果，制度改善等の審議）

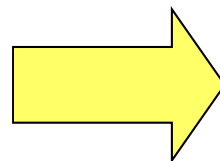
## 4. 政策評価の対象

京都市基本計画「はばたけ未来へ！京プラン」をベースとする

市民参加により策定



京都市基本計画



政策(27項目)

施策(114項目)



## ■ 「はばたけ未来へ！ 京(みやこ)プラン(京都市基本計画)」

### 計画の位置付け～どのような計画か～

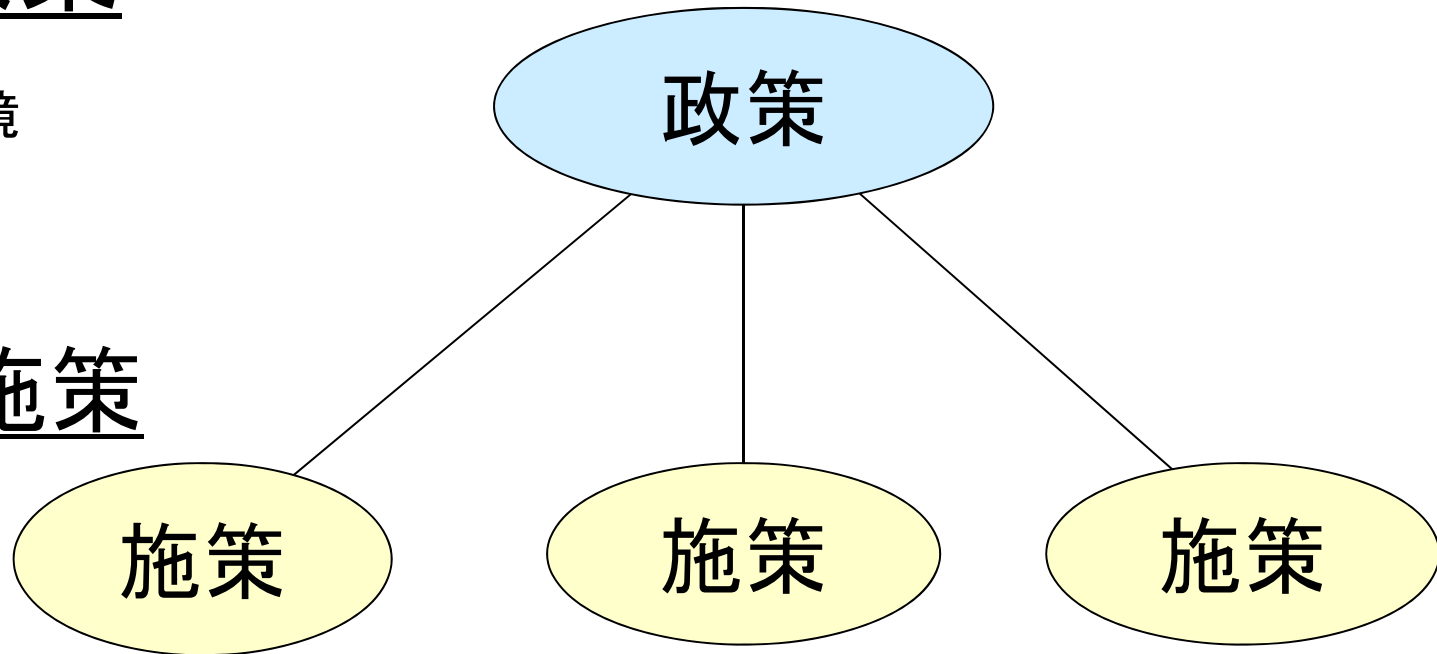


- 平成23年度から10年間の都市経営の基本となる計画
- 単なる「行政計画」ではなく、市民と行政が共に汗を流して協働する「共汗型計画」
- 政策の優先順位を明確にし、目標への筋道を示す「戦略的な計画」
  - ・ 6つの未来像・11の重点戦略・27の政策分野
  - ・ 行政経営の大綱
  - ・ 重点戦略や行政経営の大綱を着実に実行するための個別具体的な事業やスケジュール、目標等を明示した「実施計画」を平成24年3月に策定

# 27政策

例) 1 環境

# 114施策



例) 0101  
自然環境とくらしを  
気遣う環境の保全

0102  
低炭素型のくらしや  
まちづくりの実現

0103  
ごみを出さない  
循環型社会の構築

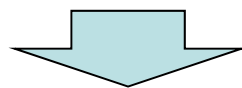
## ■ 5. 評価の手法

### ◇ 客観指標評価（5段階評価）

統計数値等の客観的な数値を基にした  
政策・施策目的の達成状況

### ◇ 市民生活実感評価（5段階評価）

市民の生活実感についてのアンケート



### ◆ 総合評価（5段階評価）

## 指標＝数値化

- ◇政策・施策それぞれの目標に対応させて設定
- ◇指標の性質に応じ、目標達成度、年次推移、全国との比較などで評価
- ◇目標達成度等によって、5段階（a～e）で評価

## ■ 客観指標の例(環境分野)

### ◇政策 1 環境

温室効果ガス排出量削減率(%)

エネルギー消費量削減率(%)

本市が受け入れるごみ量(トン)

### ◇施策 0103

ごみを出さない循環型社会の構築

一人一日当たりのごみの排出量

ごみ焼却量

ごみ1トン当たりの発電量

# 客観指標の例(政策・本市が受け入れるごみ量)

政策名	1	環境	
指標名	本市が受け入れるごみ量(トン)		
担当部室	循環型社会推進部	連絡先	
		213-4930	
<b>1 指標の説明</b>			
本市が1年間に受け入れるごみの量			
<b>2 指標の意味</b>		<b>3 算出方法・出典等</b>	
循環型社会の構築に向けた進捗状況を示す指標		出典：事業担当課調べ	
<b>4 数値</b>			
10年後(平成32年度)の目標値	平成23年度評価値	平成32年度目標値	根拠
	49.7万	39万	京都市循環型社会推進基本計画(2015-2020)
	前回数値	最新数値	推移
	27年度	28年度	
数値	44.0万	41.7万	2.3万トン減
			単年度目標値
			数値
			根拠
			達成度
			平成32年度の数値目標達成のために当年度達成すべき数値
			103.0%
	全国順位	中長期目標	
		数値	目標年次
		39万トン	32年度
			達成度
			93.1%
		根拠	
		京都市循環型社会推進基本計画(2015-2020)	
<b>5 評価基準</b>		<b>6 基準説明</b>	
最新値-目標値が, a: 0トン以下 b: 0トン超~1.4万トン以下 c: 1.4万トン超~2.8万トン以下 d: 2.8万トン超~4.2万トン以下 e: 4.2万トン超		当年度の目標値(43.0万トン)を達成した場合をa,京都市循環型社会推進基本計画の基準年度(平成25年度)のごみ量(47.2万トン)を超えた場合をeとし,b~dは等間隔(約1.4万トン間隔)で基準を設定	
		<b>7 評価結果</b>	
	27	28	29
	a	a	a

# 客観指標の例(施策・一人一日当たりのごみの排出量)

施策名	0103	ごみを出さない循環型社会の構築				
指標名	一人一日当たりのごみの排出量(グラム)					
担当課	ごみ減量推進課	連絡先	213-4930			
<b>1 指標の説明</b>						
一人一日当たりのごみの排出量(市受入量)						
<b>2 指標の意味</b>			<b>3 算出方法・出典等</b>			
循環型社会の構築に向けた「ごみの発生抑制、再使用(2R)」の推進状況を示す指標			出典：事業担当課調べ			
<b>4 数値</b>						
	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	27年度	28年度		数値	根拠	達成度
数値	817	775	42グラム減	798	平成32年度の数値目標達成のために当年度達成すべき数値	102.9%
	全国順位	中長期目標			備考	
		数値	目標年次	達成度		
数値		730グラム	32年度	93.8%	京都市循環型社会推進基本計画(2015-2020)	
<b>5 評価基準</b>		<b>6 基準説明</b>		<b>7 評価結果</b>		
最新値-目標値が、 a: 0グラム以下 b: 0グラム超~27グラム以下 c: 27グラム超~54グラム以下 d: 54グラム超~82グラム以下 e: 82グラム超		当年度の目標値(798グラム)を達成した場合をa、京都市循環型社会推進基本計画の基準年度(平成25年度)のごみ量(880グラム)を超えた場合をeとし、b~dは等間隔(約27グラム間隔)で基準を設定		27	28	
				a	a	
					29	
					a	

## ■ 市民生活実感調査

アンケート調査により市民の生活実感を把握

### ◇ 調査

- ・20歳以上の市民3,000人  
住民基本台帳から無作為抽出(外国籍市民を含む)
- ・郵送により調査票を配付及び回収(無記名)

### ◇ 回答状況

	有効回答数	回収率
29年度	1,069	35.6%
28年度	1,082	36.1%
27年度	1,124	37.5%



## ■ 市民生活実感調査

### ◇ 設問（130問）

京プランの「みんなでめざす10年後の姿」に対応

<例>

- ① 京都の子どもたちは、山紫水明の自然環境を  
かけがえのないものと実感している。
- ② 「きれいな空気，清らかなまち」など，よい環境が  
保たれている。

### ◇ 回答

問いに対して，下記の5段階から一つ選択

a: そう思う    b: どちらかというと思う

c: どちらとも言えない

d: どちらかというと思わない    e: そう思わない

### ◇ 評価方法

回答を点数化し、5段階(a~e)で評価

- ① 総回答数のうち、無回答のものを除き、これを有効回答数とする。
- ② 各回答について点数を乗じ、それらの合計を有効回答数で除したものを施策の合計点とする。

2点	a: そう思う
1点	b: どちらかというと思う
0点	c: どちらとも言えない
-1点	d: どちらかというと思わない
-2点	e: そう思わない

## ■ 市民生活実感調査

### <算出例>

そう思う	どちらかという とそう思う	どちらとも言え ない	どちらかという とそう思わない	そう思わない	無回答	総回答	有効 回答
2点	1点	0点	-1点	-2点	-	-	-
37	93	81	28	20	23	283	259

$$\frac{37 \times 2 + 93 \times 1 + 81 \times 0 + 28 \times (-1) + 20 \times (-2)}{259} = \text{合計点 } 0.382$$

### ③ 合計点に応じ5段階で評価

区分	数 値	評 価
a	0.8以上	大変良い状況にある
b	0.3を越え 0.8未満	やや良い状況にある
c	-0.3以上 0.3以下	(状況は)どちらとも言えない
d	-0.8を越え -0.3未満	やや悪い状況にある
e	-0.8以下	大変悪い状況にある

## ■ 評価の手法(例示)

例示「自然環境とくらしを気遣う環境の保全」

### 客観指標評価

- ・客観指標(例)  
「エコカーの普及台数」
- ・評価方法  
当該年度の目標台数に対する達成度  
a:80%以上  
b:60%以上～80%未満  
c:40%以上～60%未満  
d:20%以上～40%未満  
e:20%未満

- ・目標値  
60,000台
- ・最新数値  
62,187台
- ・達成度  
103.6%

評価結果  
a

### 市民生活実感評価

- ・設問(例)  
「きれいな空気, 清らかな川, 静かなまち」など, よい環境が保たれている
- ・回答  
a: そう思う  
b: どちらかというと思う  
c: どちらとも言えない  
d: どちらかというと思う  
e: そう思わない

- ・有効回答  
546
- ・内訳  
a: 56 (10.3%)  
b: 254 (46.5%)  
c: 144 (26.4%)  
d: 63 (11.5%)  
e: 29 ( 5.3%)

評価結果  
b

### 総合評価

二つの評価の結果を基に, A～Eの5段階で評価

A

※例示のため, 評価の過程を簡略化して記載しています

## 6. 政策評価の結果(平成29年度)

### ● 総合評価結果一覧

	A 十分に 達成	B かなり 達成	C そこそこ 達成	D あまり 達成され ていない	E 達成され ていない	計
政策	8	16	3	0	0	27
施策	32	57	23	2	0	114

評価結果や基準は、ホームページなどで公表

## 7. 京都市政策評価委員会

### ◇委員構成

7名（有識者5名，市民公募委員2名）

### ◇委員会の役割

- ・ 政策評価制度の充実に向けた提案
- ・ 政策評価の手法についての助言及び提案
- ・ 自己評価の方法及び実施過程への助言

委員会からの意見を参考に，翌年度に向けた政策評価制度の充実や改善を行う。

※委員会意見は，評価の方法に対する意見であり，  
評価結果の妥当性等の第三者評価を行うものではない